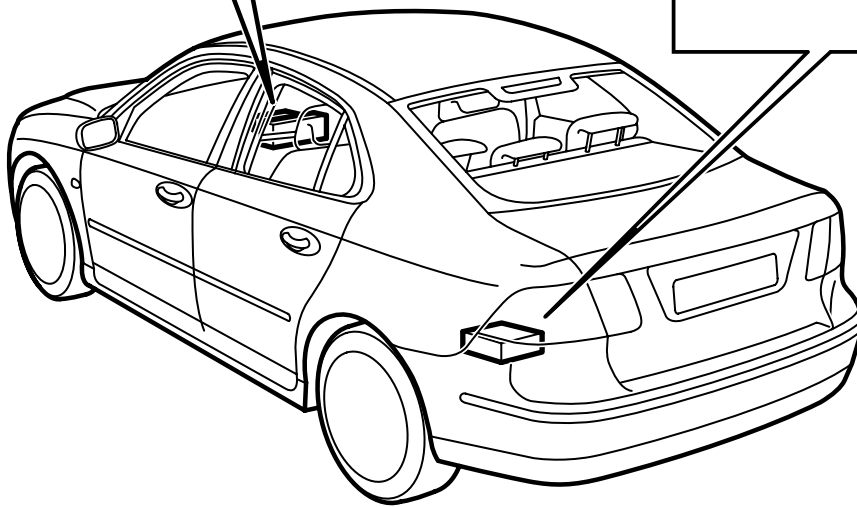
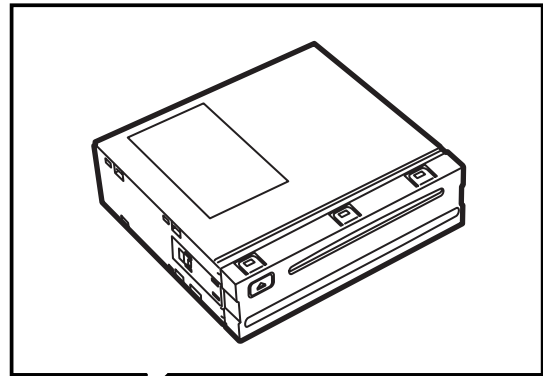
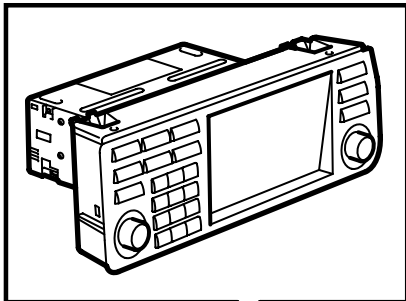




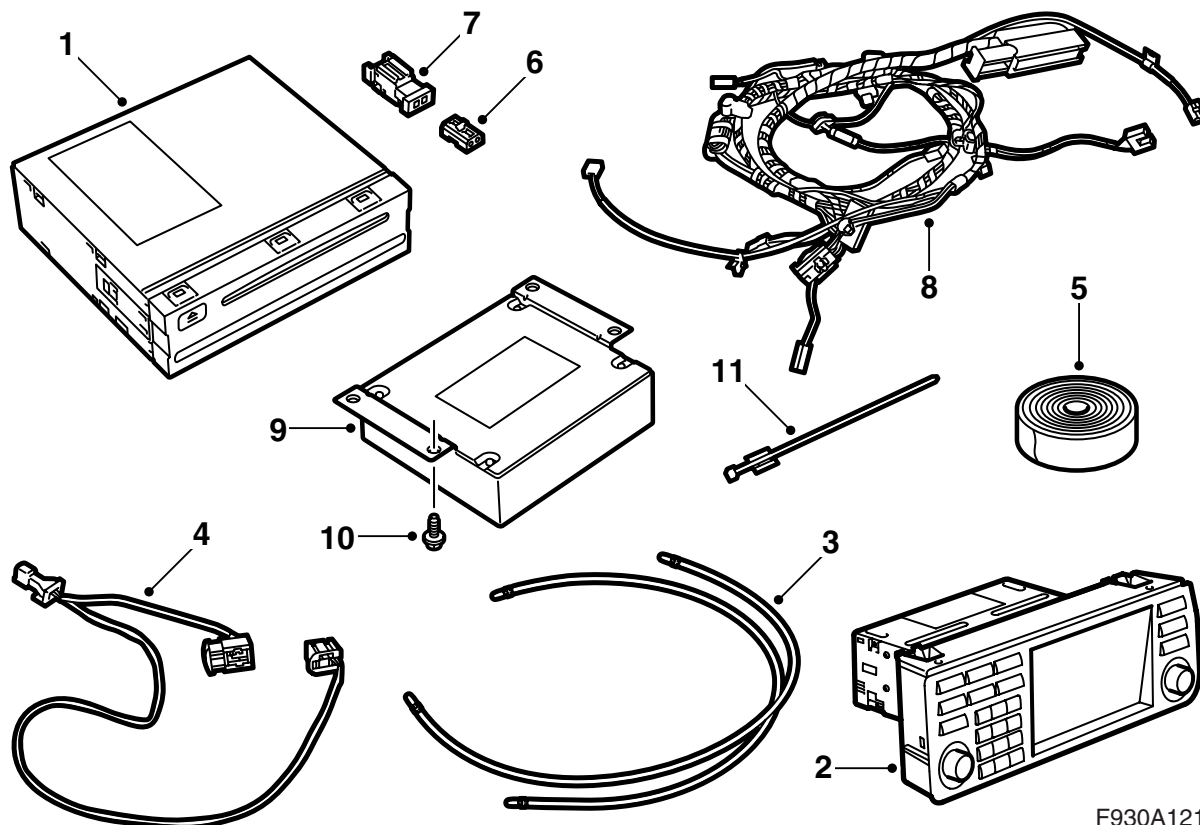
**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

**Saab 9-3 M03-**  
ナビゲーションシステム

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 787 151 12 788 472 12 801 752 12 801 753	9:51-02	Jan 03	12 801 443	



F930A120

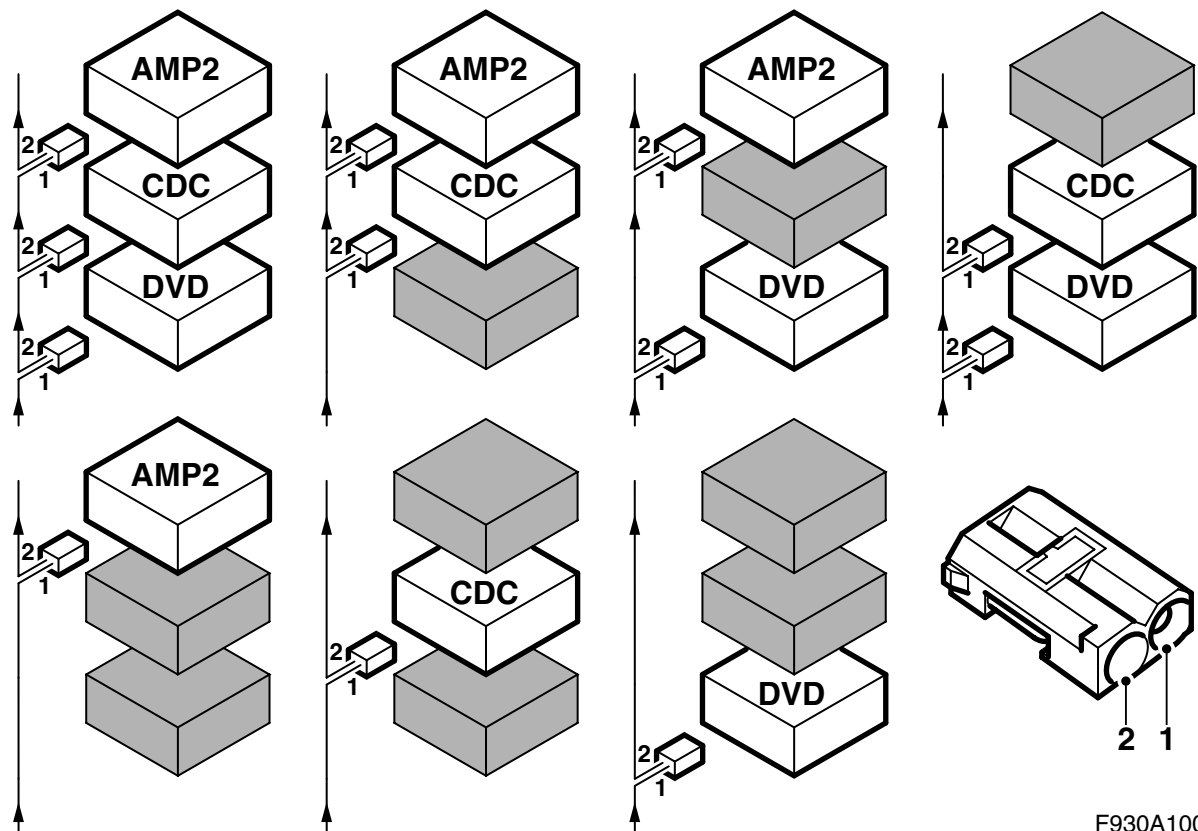


F930A121

- 1 DVD プレーヤー
- 2 操作パネル
- 3 光ファイバーケーブル  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 には 2 本)  
(キット 12 801 752 及び 12 801 753 には 1 本)
- 4 ワイヤハーネス
- 5 がたつき防止用テープ  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 にのみ)
- 6 光ケーブルコネクター (2 極)  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 には 2 本)  
(キット 12 801 752 及び 12 801 753 には 1 本)
- 7 光ファイバーケーブル接合具 (2 極)  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 には 3 個)  
(キット 12 801 752 及び 12 801 753 には 1 個)
- 8 ワイヤハーネス  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 にのみ)
- 9 テレマティクスユニット  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 にのみ)
- 10 ボルト (4 個)  
(キット 12 787 151 及び 12 788 472 にのみ)
- 11 ケーブルタイ

その他に以下のパーツが必要となる (別途発注のこと):

- トランクルーム内取り付け用ブラケット (一部の車種のみ)。これには以下のパーツが入っている:
  - ブラケット
  - ボルト (3 個)
  - ナット
  - クリップナット
  - サイドトリム
- 追加キット「アンテナ」(一部の車種のみ)。これには以下のパーツが入っている:
  - アンテナ GPS/GSM
  - アンテナケーブル GPS/GSM
  - ケーブルタイ (2 本)
- マイクロフォン (一部の車種のみ)



F930A100

## バス通信

車の電気システムの多くの部分が、バスを使って相互に通信を行う。バス通信には、P-バス (Powertrain Bus、パワートレインバス)、I-バス (Instrument Bus、計器バス)、0-バス (Optic bus、光バス) の3種類がある。オーディオシステムは、ナビゲーションシステムや電話システムなどと共に、0-バスを介して通信を行う。

0-バスは光学式で、リングバスである。2本の光ファイバーケーブルがバス上にあるそれぞれの制御モジュールに接続されており、この1本は受信用、もう1本は送信用である。受信したメッセージはそれぞれの制御モジュールで光信号から電気信号に変換され、送信時にはまた光信号に変換される。0-バスのデータ転送速度は、25 Mbps (メガビット毎秒) である。

### 重要事項

0-バスに接続されている部品は全て、正しい順序 (図を参照のこと) で接続されていること、そしてリングが常時閉じていることが非常に重要である。

この取り付け説明書に記載されている手順以外の方法で接続を行うと、車の多くのシステムが機能しなくなる恐れがある。

AMP1 = 左フロントシート下のアンプ

AMP2 = リアのヒューズボックスそばのアンプ

CDC = リアのヒューズボックスそばの CD チェンジャー

DVD = リアのヒューズボックスそばのDVDプレーヤー

新たな装備を 0-バスに接続する際には、必ず既存の装備部品の正しい側に接続すること。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本の光ファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルはスプライスできない (継ぐことができない)。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルを 85 °C以上の高温にさらしてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

---

### 重要事項

左フロントシートがパワーシート（電動操作式シート）で、リアのヒューズボックスの横にブラケットが無い場合には、左フロントシートを出来る限り前方の位置にした上、このバックレストを前方に倒す。

- 1 診断ツールを接続し、インフォティメントシステムの操作パネルを車から分離する（カップリングを解除する）。

---

### 重要事項

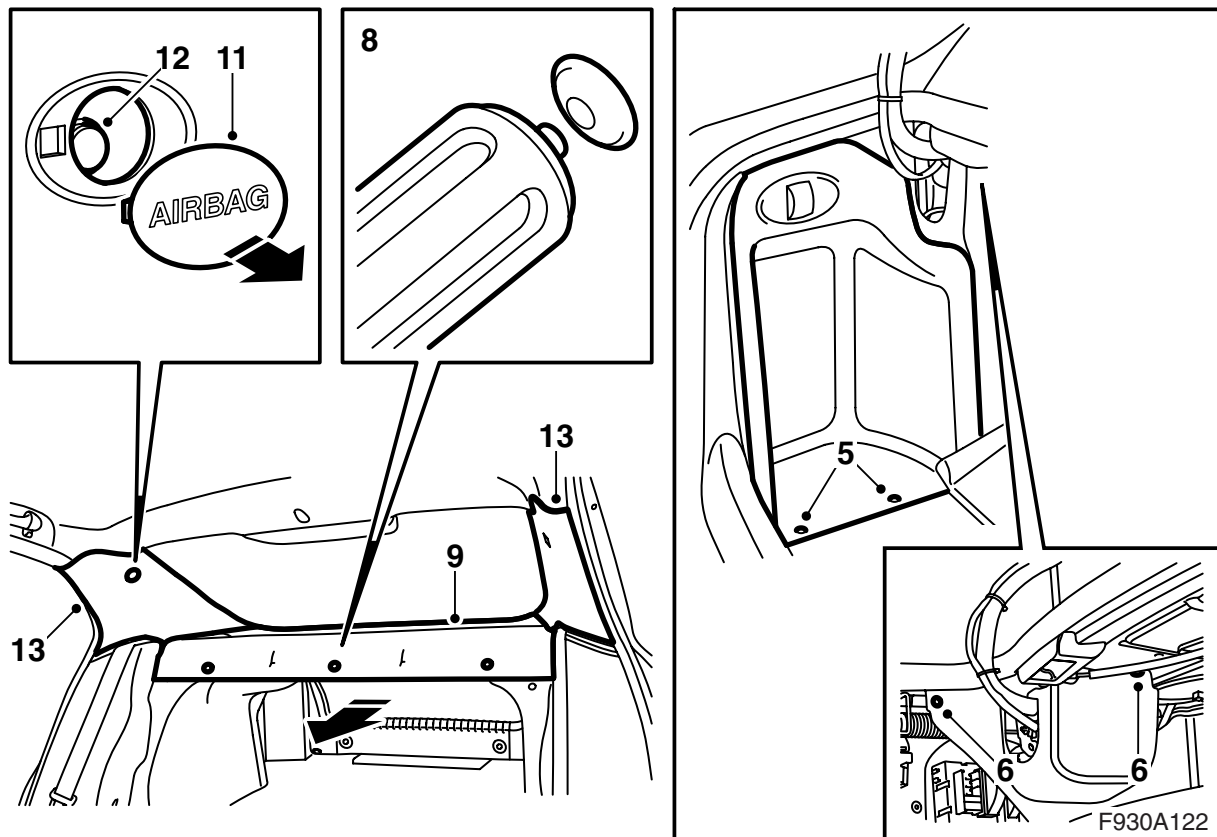
この制御モジュールは、静電気放電に敏感である。制御モジュール内部の構成部品を損傷しないために、部品の交換は以下の手順に従って慎重に行う。

- 制御モジュールのピンには、絶対に手や衣服を触れないこと。
- 車のボディやエンジンに触れることで、作業する人自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターの接続を外す。
- 車のボディやエンジンに触れることで、作業する人自身の体をアースする。車の制御モジュールのコネクターを接続する。
- 交換済の制御モジュールは、ピンに触れないように注意しながら返品用の梱包箱に入れる。
- 新しい制御モジュールは、できるだけ包装されたままの状態にしておく。

---

メニュー「全て」に行き、「追加 / 削除」の項で該当の制御モジュールを選択する。それから「削除」を選択し、後は指示に従う。このときイグニッションキーは ON の位置にしておくこと。TIS 2000 の使用が必要となる場合がある。車から制御モジュールを分離する（カップリングを解除する）作業が完了したら、イグニッションキーを OFF の位置にする。この後なら、制御モジュールを取り外すことが出来る。

- 2 トランクリッドを開く。
- 3 バッテリーのマイナスケーブルを取り外し、イグニッションスイッチからキーを抜き取る。



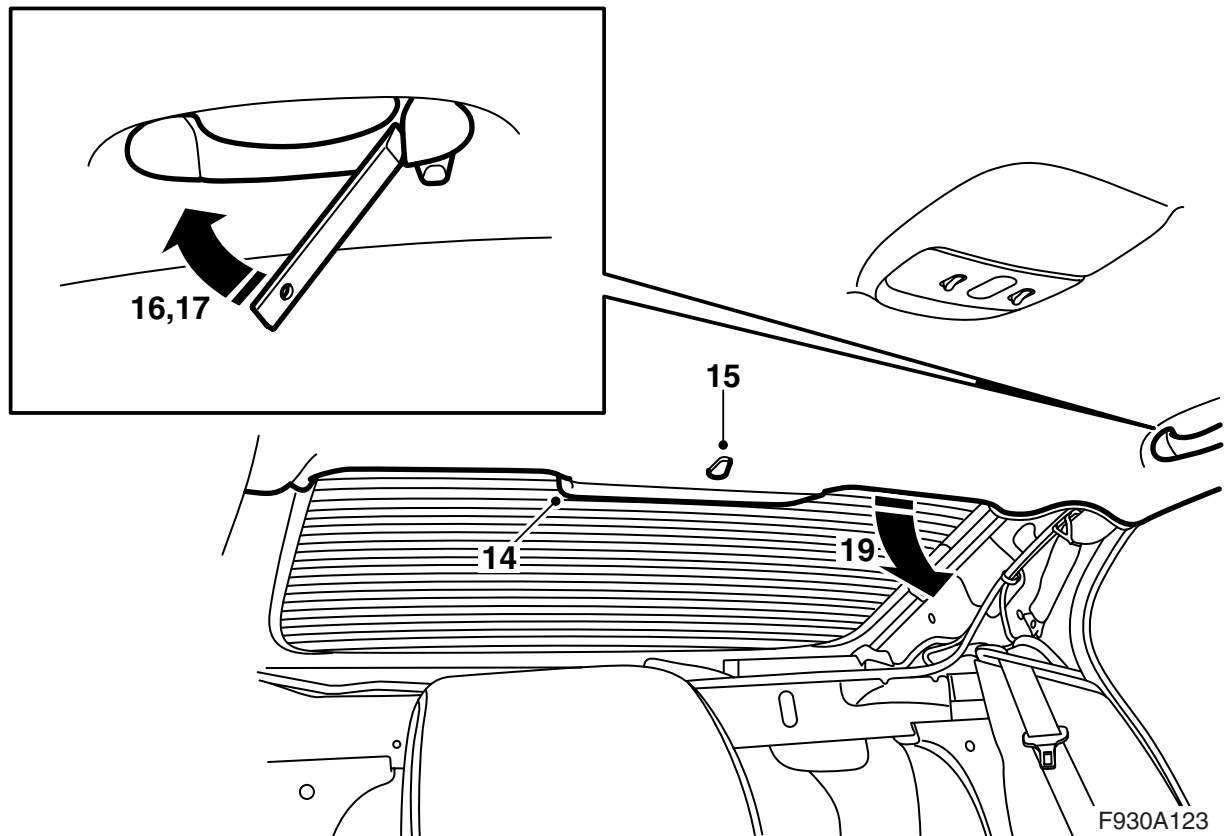
- 4 トランクルームフロアを前方へ倒す。
- 5 トランクルームの左サイドトリムのハッチを取り外し、右側のハッチを下に倒す。
- 6 左サイドトリムのクリップを取り外し、トリムを邪魔にならないようにどける。右側でも同様の作業を行う。
- 7 リアシートのバックレストを倒す。
- 8 パーセルシェルフのトリムを保持しているクリップを取り外す。
- 9 パーセルシェルフのトリムを真っ直ぐ前方に引く。
- 10 パーセルシェルフの中央の穴のそばに、アンテナケーブルの接続があるか確認する。パーセルシェルフの中央に何らかの電子部品ユニットが取り付けられているか否かも確認する。

**アンテナケーブルの接続が無い場合:** ポイント 11 から作業を続ける。

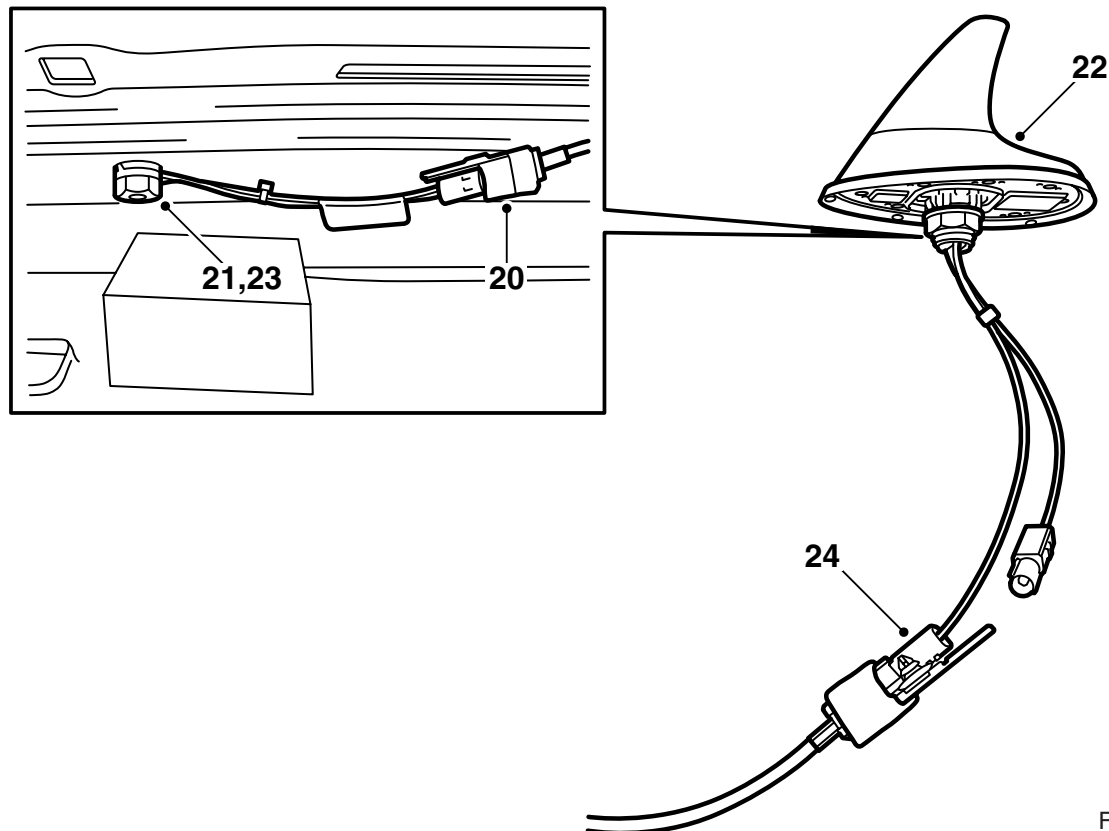
**アンテナケーブルの接続があるが、テレマティークユニットは無い場合:** ポイント 29 から作業を続ける。

**アンテナケーブル接続があり、テレマティークユニットもある場合:** ポイント 11 から作業を続ける。

- 11 Cピラーのトリムからカバープレートを取り外す。取り外し工具 (82 93 474) を使用する。
- 12 Cピラートリムのボルトを緩める。ボルトは、装着されているエキスパンダーが効果を失う恐れがあるため、完全に抜き出してはならない。
- 13 ボルトと一緒にトリムを慎重に前方へ引っぱることにより、Cピラートリムを取り外す。



- 14 ハイマウントブレーキライトのカバーを、注意深く下向き後方に引いて、取り外す。
- 15 インナールーフの後端にあるクリップを、90° 回して取り外す。
- 16 リアのカーブハンドル上のエンドピースを両方共取り外す。取り外し工具 (82 93 474) を使用して、外向きにこじると外れる。
- 17 カーブハンドルをまっすぐ引き出す。
- 18 ルーフトリムを、リアドア付近のシーリングストリップから外す。
- 19 ルーフの後端を注意深く下ろして、アンテナに手が届く状態にする。



F930A124

- 20 アンテナケーブルをルーフアンテナから取り外す（ある場合）。
- 21 アンテナを取り外す。
- 22 キット内容のアンテナを取り出す。アンテナケーブルをルーフの穴を通して引き出し、このアンテナに取り付ける。
- 23 アンテナのナットを締め付ける。

#### 締め付けトルク 2 Nm (1.5 lbf ft)

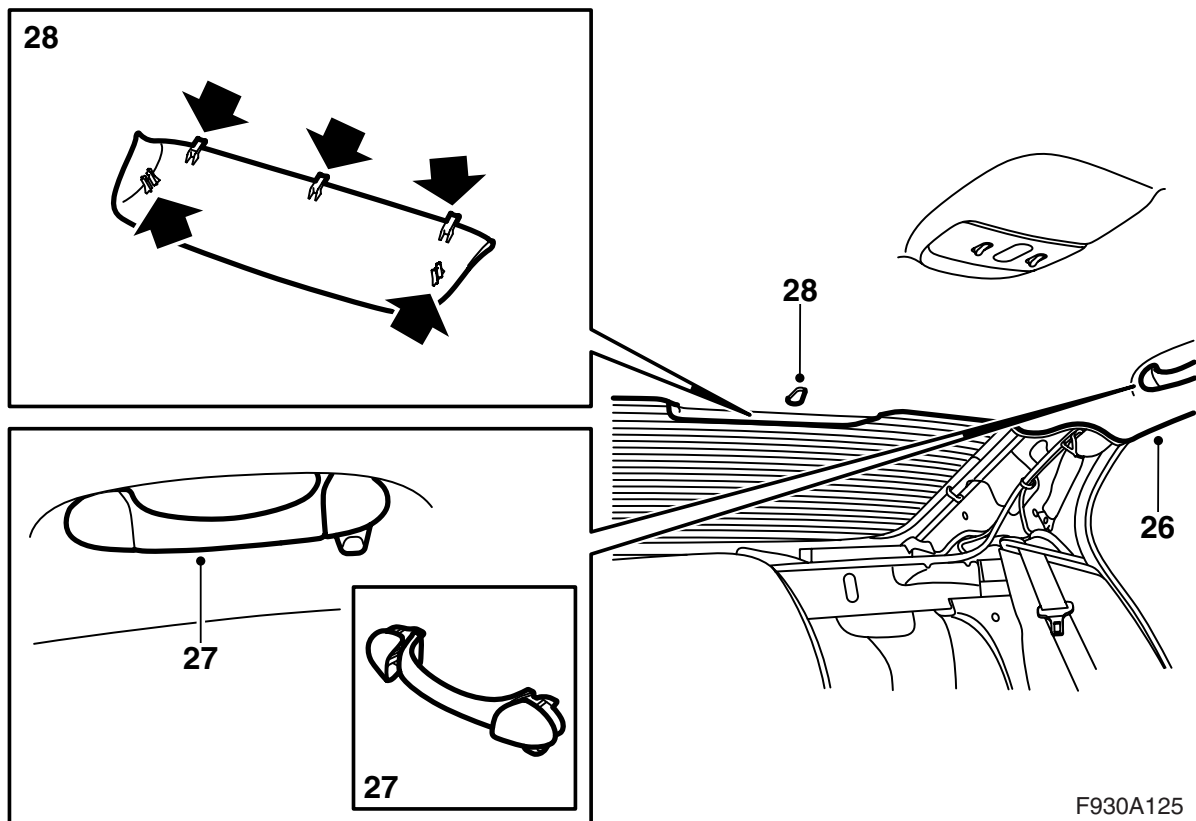
- 24 **アンテナケーブルが無い車の場合：**キット内容のアンテナケーブルを接続し、ケーブル上のクリップをルーフ後端にある穴に取り付ける。

**車前方に向け配線されたアンテナケーブルがある車の場合：**まず既存のアンテナケーブル、それからキット内容のアンテナケーブルを、アンテナに接続する。キット内容のアンテナケーブルを既存のアンテナケーブルに沿って、右側Cピラーに向けて配線する。両方のアンテナケーブルと、余分なコネクタをケーブルタイで結束し、固定する。

**パーセルシェルフまで敷設されたアンテナケーブルがある車の場合：**キット内容のアンテナケーブルをアンテナに接続する。キット内容のアンテナケーブルを既存のアンテナケーブルに沿って、右側Cピラーに向けて配線する。両方のアンテナケーブルと、余分なコネクタをケーブルタイで結束し、固定する。

- 25 アンテナケーブルを右側 C ピラーに沿って引き下げ、パーセルシェルフ中央まで配線する。このケーブルは既存のケーブルクリップ内に固定すること。

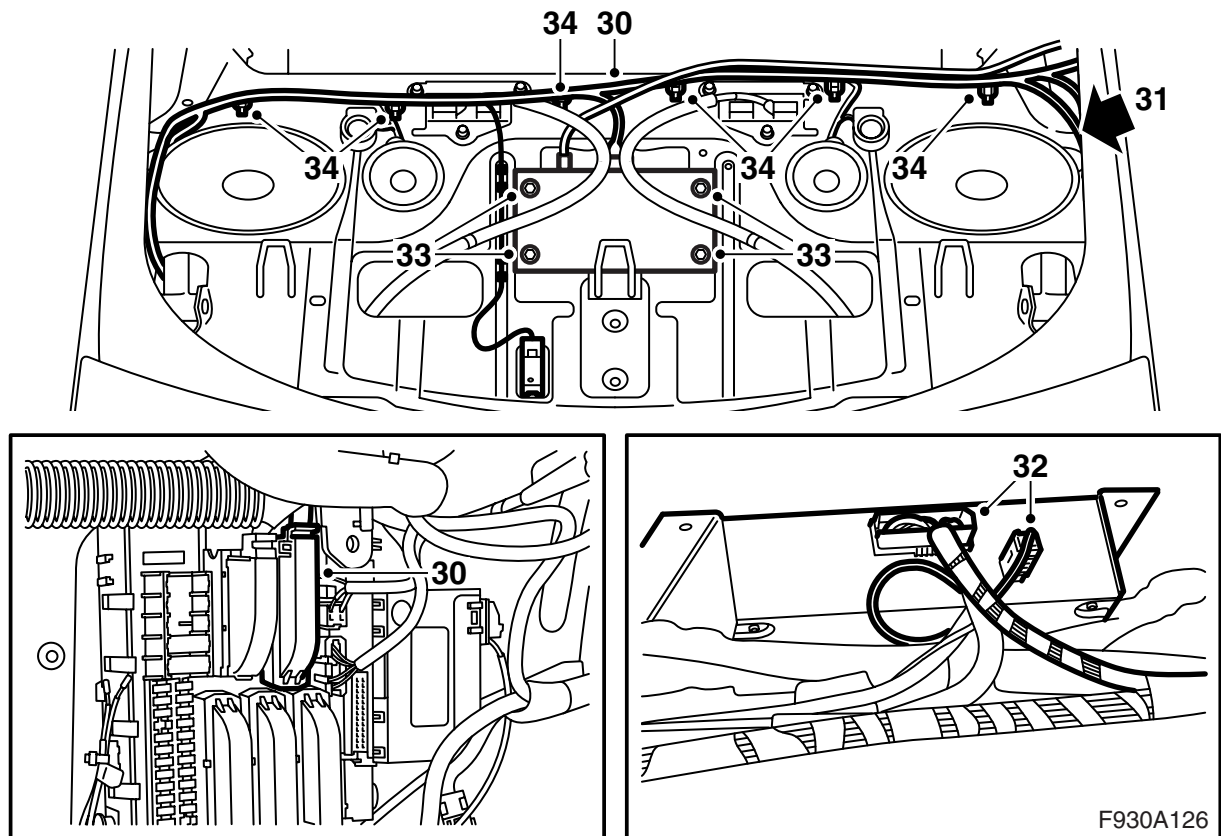
**パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットがある車の場合：**アンテナケーブルをテレマティークユニットに接続する。



F930A125

- 26 ルーフトリムを、リアドア上側のシーリングストリップにはめ入れる。
- 27 リアのカーブハンドルを押し込んで固定し、エンドピースを両方共はめる。
- 28 ハイマウントブレーキライトのカバーを取り付け、インナールーフのクリップを押し込んで固定する。





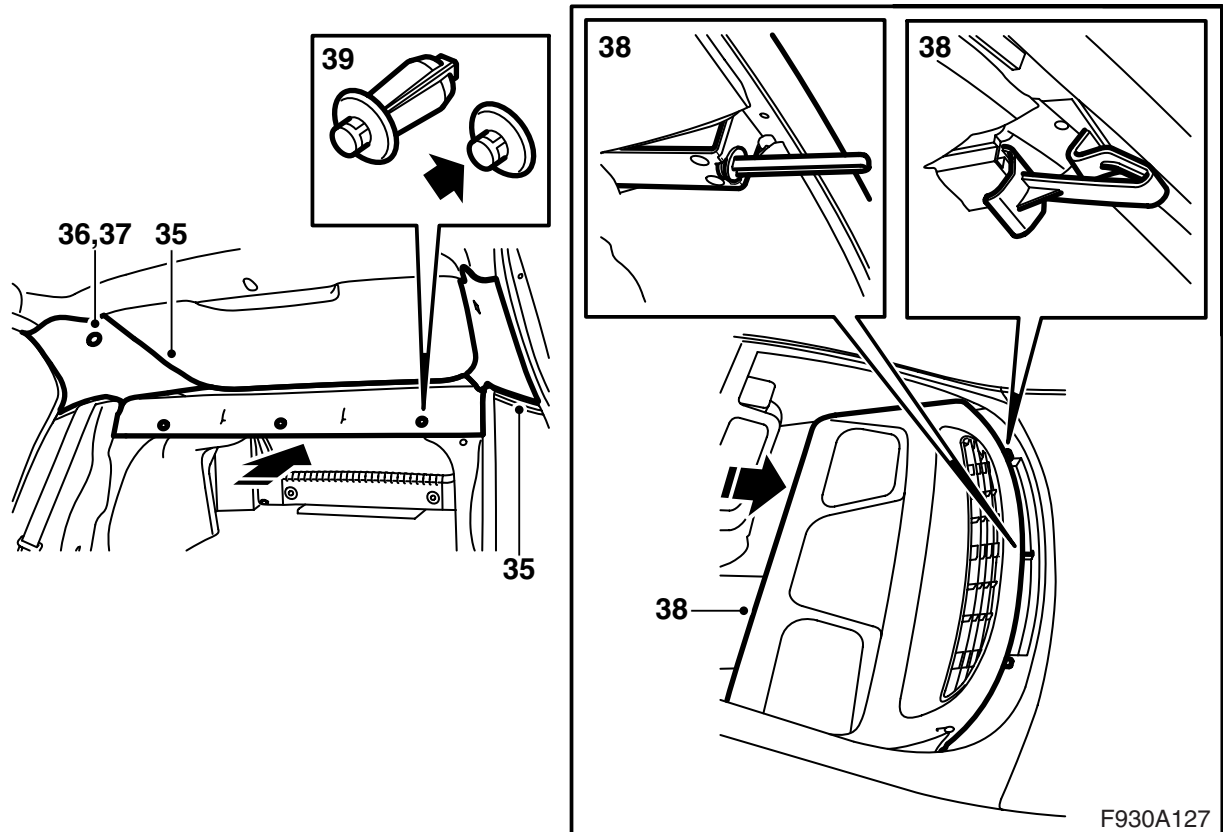
- 29 **パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットが無い車の場合：**パーセルシェルフからワイヤーハーネスを取り外し、リアのヒューズボックス内の接続を外す。
- 30 **パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットが無い車の場合：**新しいワイヤーハーネスをパーセルシェルフの上面に位置づけ、これを接続する。車に低音用スピーカーが取り付けられていない場合には、これらのコネクタはスピーカーのカバー下側に取り付ける。
- 31 **パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットが無い車の場合：**光ファイバーケーブルを車の右側下向きに敷設する。
- 33 **パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットが無い車の場合：**テレマティークユニットをはめ合わせ、パーセルシェルフにボルトどめする。  
締め付けトルク 8 Nm (6 lbf ft)
- 34 **パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットが無い車の場合：**ワイヤーハーネスをパーセルシェルフ上のケーブルクリップに固定する。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

- 32 **パーセルシェルフ中央にテレマティークユニットが無い車の場合：**テレマティークユニットをパーセルシェルフ上に位置づけ、ケーブルとアンテナケーブルを接続する（青いコネクタ）。



35 Cピラーのトリムを元の位置に戻す。エキスパンダー付きのボルトが正しい位置に来るようにする。

**⚠ 警告**

衝突カーテンを損傷しないように注意する。万一これを損傷してしまうと、衝突カーテンが車の衝突時に、意図された通りの乗員の安全保護効果を発揮しない恐れがある。

36 ボルトを締め付ける。

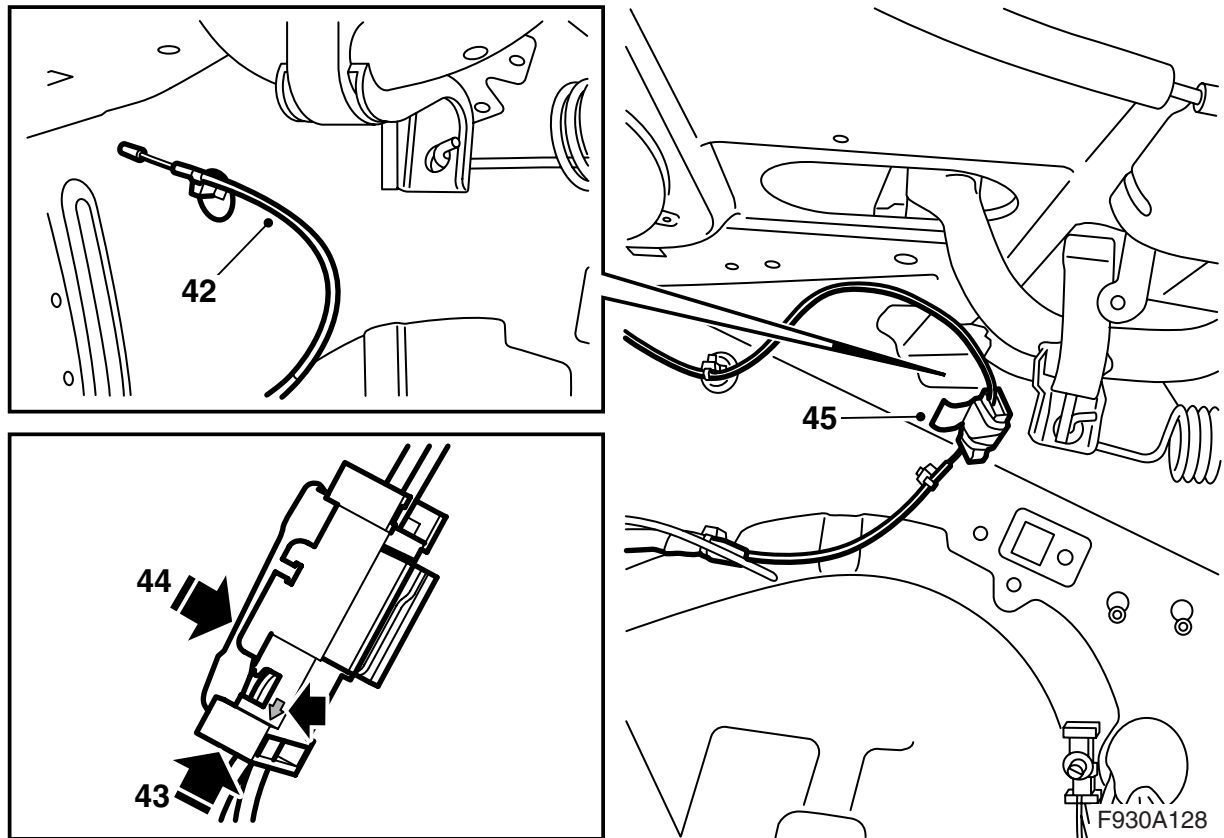
**締め付けトルク 2 Nm (1.5 lbf ft)**

37 Cピラーのトリムにカバーワッシャを取り付ける。

38 パーセルシェルフトリムを挿入する。各ガイドがパーセルシェルフパネルの各取り付け具にきちんと入るように、慎重に作業する。

39 パーセルシェルフのトリムにクリップを取り付ける。

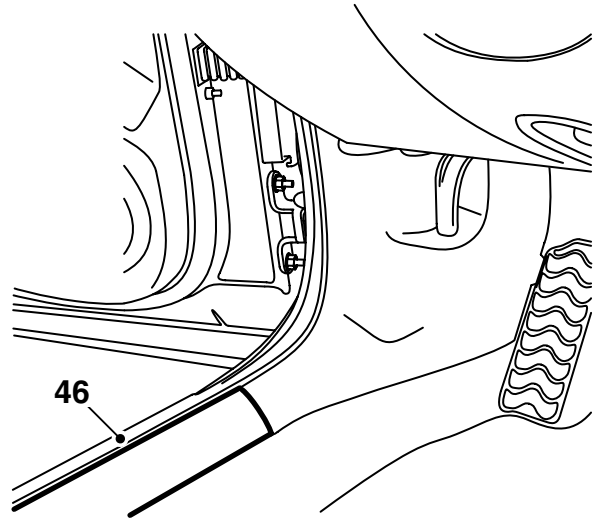
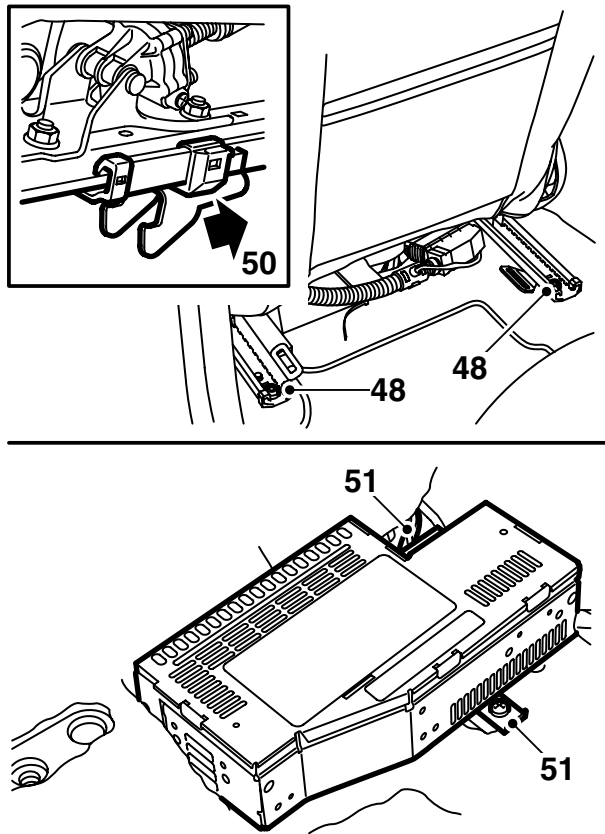
40 バックレストを起こす。バックレストがロックされていることを確認する。



- 41 パーセルシェルフから引き下げられた光ファイバーケーブルコネクタを、トランクルーム右側で、キット内容の接合具のうちの 1 個に取り付ける。
- 42 トランクルームの右側に固定されている光ファイバーケーブルを見つけ、保護を取り外す。
- 43 光ファイバーケーブルの接続を、接合具内に取り付ける。パーセルシェルフからの光ファイバーケーブルの反対側の位置で、矢印が外向きに光ファイバーケーブルを指す位置に取り付けること。
- 44 ロックプレートを取り付ける。
- 45 接合具の周囲にがたつき防止用テープを巻く。

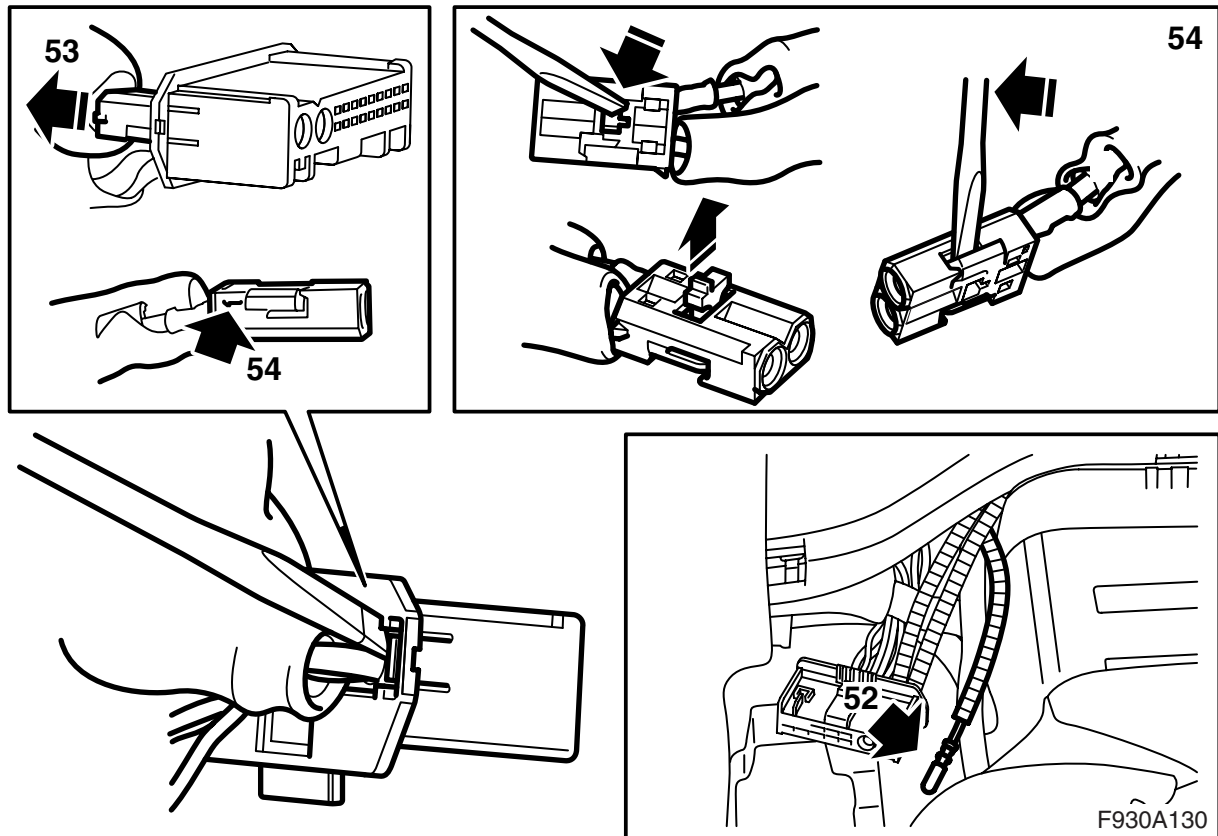
**リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：**ポイント 46 から作業を続ける。

**リアのヒューズボックスのそばにブラケットがある車：**ポイント 64 から作業を続ける。



F930A129

- 46 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：車の左側フロントのスカッフプレートを取り外す。
- 47 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：（まだこの作業を行っていないならば）左フロントシートを出来る限り前方の位置にし、バックレストを前方に倒す。
- 48 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：シートからリア固定ボルト（2本）を取り外す。
- 49 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：シートを前方に傾ける。
- 50 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：シートを後方に引き、固定フックを位置から外す。シート全体を後方に倒す。
- 51 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：アンプを取り外す。



52 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：アンプのそばの、緑色のマークが付いた光ファイバーケーブルを見つける。

**色のマークが無い場合**：この取り付け説明書の、ポイント 78 及び 79 にある指示に従う。アンプのそばの光ファイバーケーブルを懐中電灯などの光で照らし、トランクルーム内の光ファイバーケーブルを観察して、該当のケーブルを見つける。これにテープでマークを付ける。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

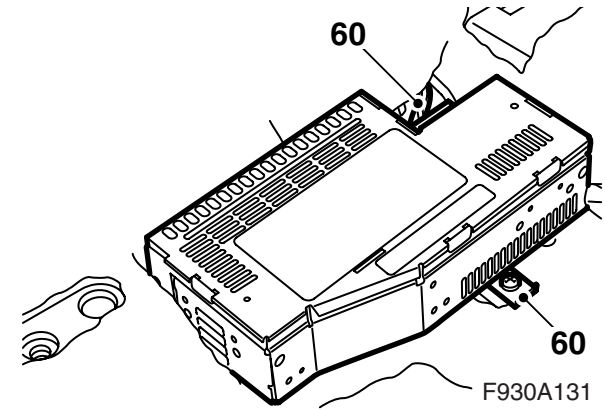
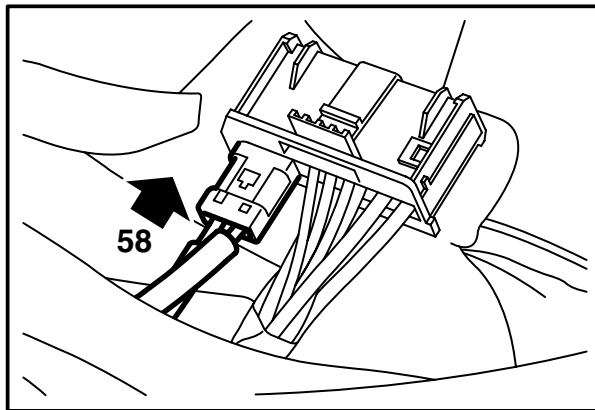
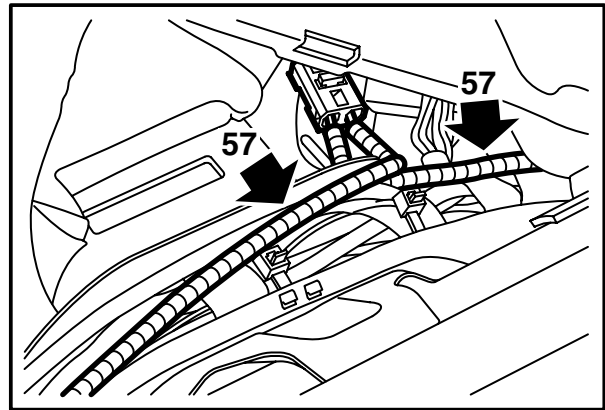
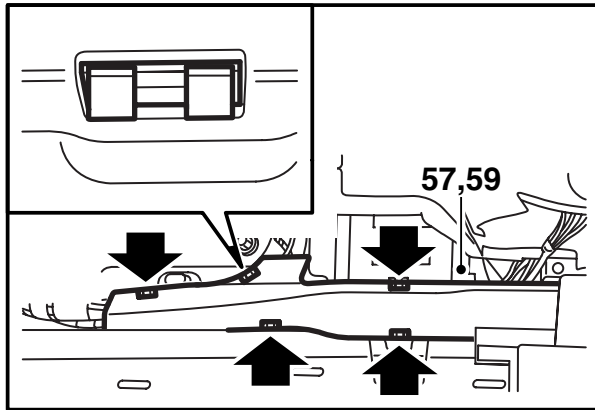
- コネクター内の2本の光ファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

53 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：光ファイバーケーブルのコネクター（小さいコネクター）を、アンプのコネクターから外す。

54 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：1 の位置に接続されている光ファイバーケーブルを、コネクターのロッククリップを開け、キャッチを注意深く持ち上げて、取り外す。

55 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：この余分な光ファイバーケーブル上の接続から、保護を外す。

56 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：取り外された光ファイバーケーブルの接続に保護を付け、損傷しないように注意深くどける。



57 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：ケーブルチャンネルのカバーを取り外して、光ファイバーケーブルが曲がらないようになっていることを確認し、この光ファイバーケーブルの接続を、アンプへつながっている小さいコネクタの1の位置に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。

60 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：アンプを接続し、取り付ける。

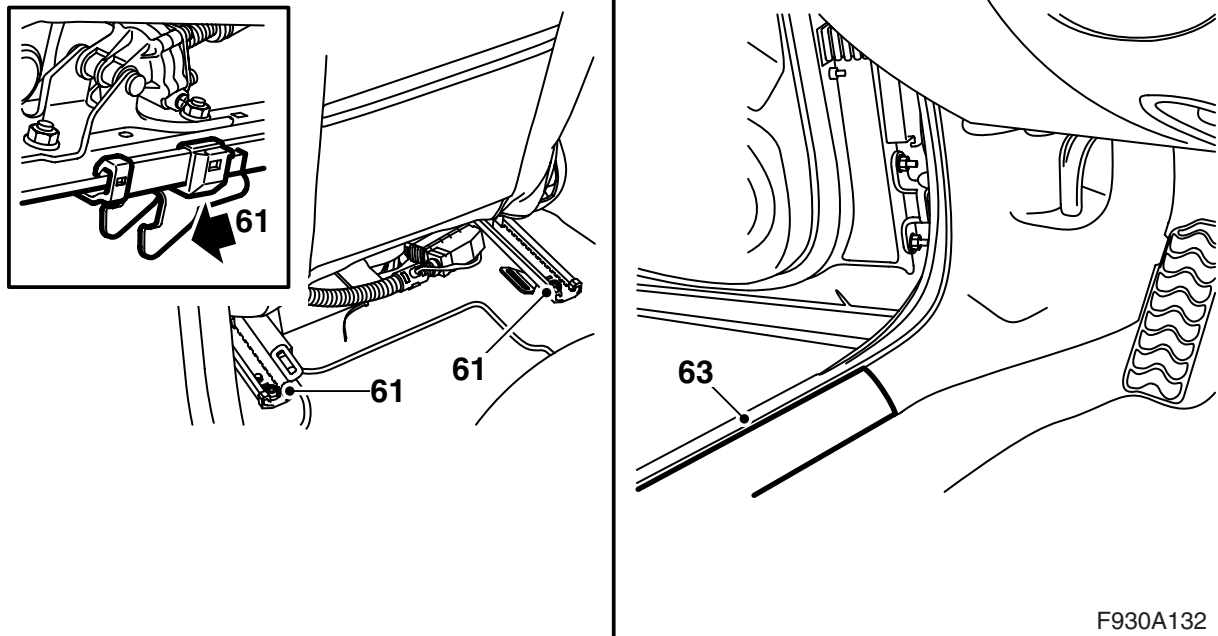
### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクタ内の2本の光ファイバーケーブルを取り間違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルに衝撃を与えないこと。透明なプラスチックの部分が白くなり、光度が低減して通信妨害を引き起こす恐れがある。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

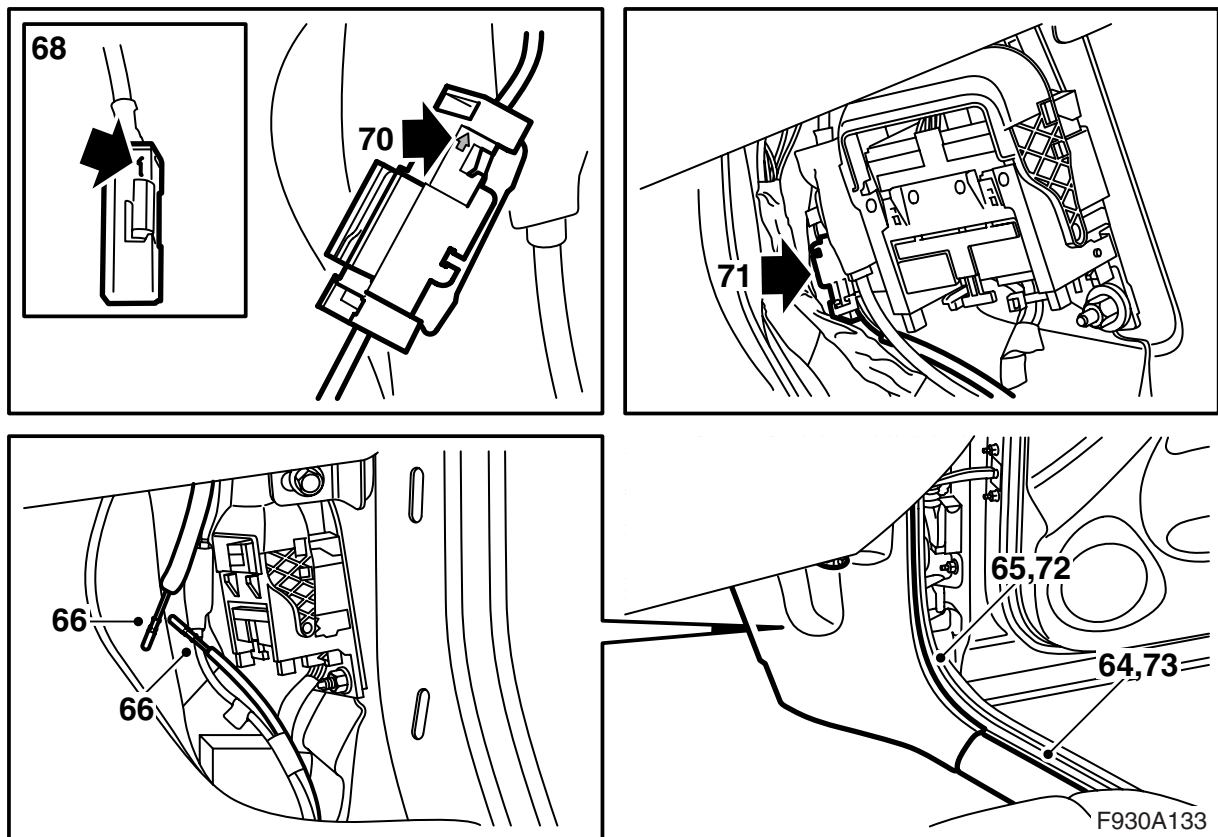
58 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：小さいコネクタを大きいコネクタに接続する。

59 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：ケーブルチャンネルのカバーを取り付け、マットを元通りに戻し、コネクタ及びケーブル類をマットの穴を通して引き出す。



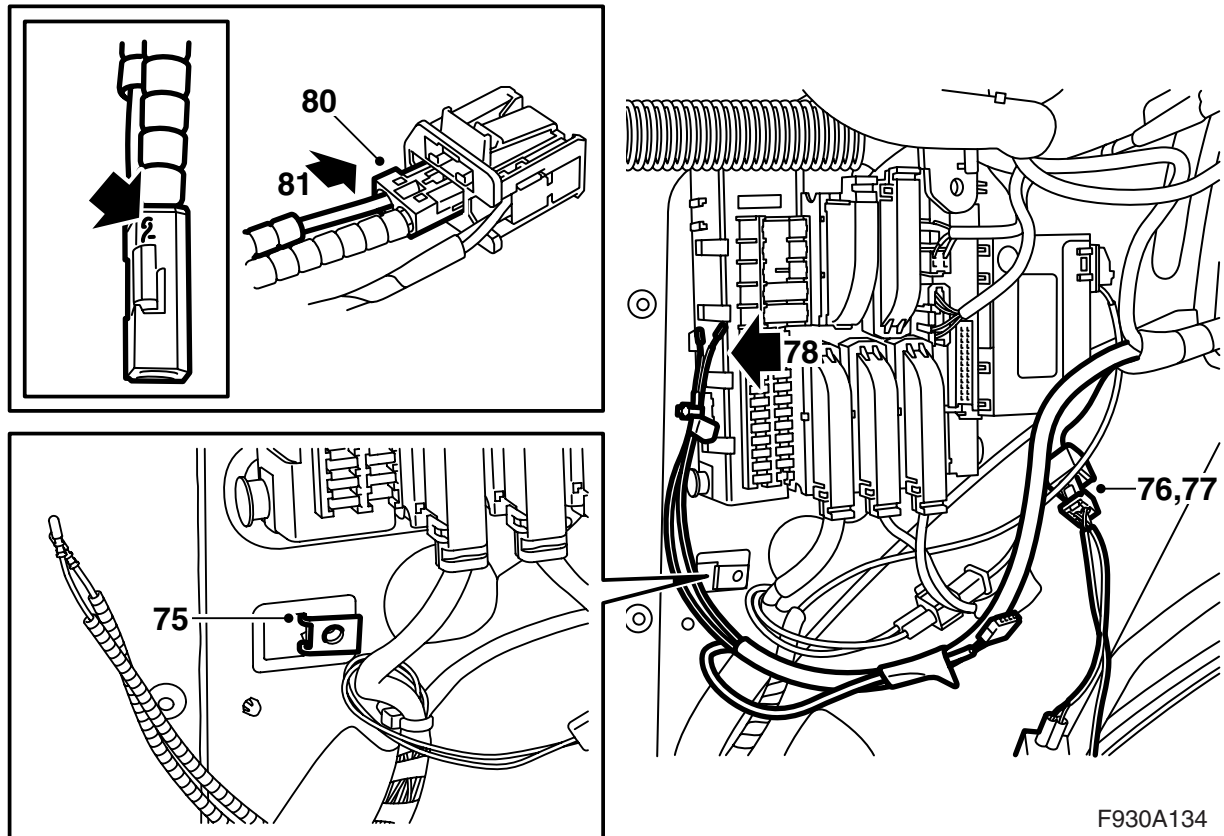
F930A132

- 61 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：シートを正しく位置づける。固定フックがそれぞれの固定具に合うように、注意深く作業する。それからリアの固定ボルトを取り付ける。  
締め付けトルク 30 Nm (22 lbf ft)
- 62 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：シートを後方に引き、バックレストを立てて元通りにする。
- 63 リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車：スカッププレートを取り付ける。



- 64 車の右側フロントのスカッフプレートを取り外す。
- 65 右側Aピラートリムのアンダーパーツを取り外す。
- 66 右側Aピラーに沿った光ファイバーケーブルを見つける。
- 67 各光ファイバーケーブルの接続部からカバーを取り外す。
- 68 片方の光ファイバーケーブルの接続を、キット内容のコネクターの位置1に取り付ける。ロックリップを取り付ける。
- 69 小さいコネクターをキットの接合具のひとつに取り付ける。
- 70 もう片方の光ファイバーケーブルの接続を、接合具内に取り付ける。前の光ファイバーケーブルの反対側の位置で、矢印が上向きに光ファイバーケーブルを指す位置に取り付けること。ロックプレートを取り付ける。
- 71 接合具を大きいコネクターの前で固定する。
- 72 Aピラートリムを取り付ける。
- 73 スカッフプレートを取り付ける。
- 74 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：ポイント75から作業を続ける。  
**リアのヒューズボックスのそばにブラケットがある車**：ポイント82から作業を続ける。





- 75 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：リアのヒューズボックスそばの四角い穴にクリップナットを取り付け、ブラケットをトランクルーム内に位置づける。
- 76 リアのヒューズボックスのそばにある、DVDプレーヤー用のコネクタを見つける。
- 77 キットのワイヤーハーネスをコネクタに接続する。
- 78 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：リアのヒューズボックスのそばにある、光ファイバーケーブルを見つける。
- 79 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：光ファイバーケーブルの接続から保護を取り外す。

- 80 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：光ファイバーケーブルの、マークの付いていない方の接続を、小さいコネクタの2の位置に取り付ける。

### 重要事項

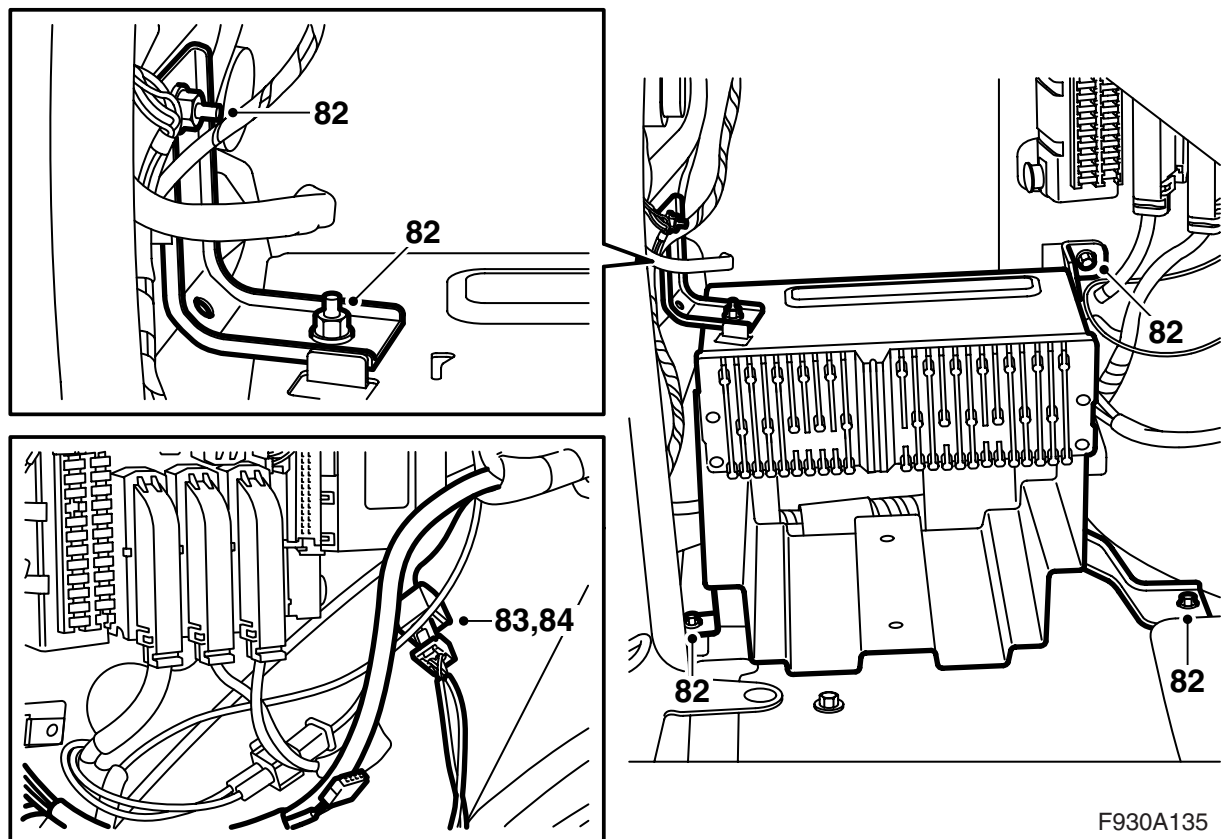
緑色のマークが付いている光ファイバーケーブルが無い車の場合は、以前にテープでマークを付けた光ファイバーケーブルを2の位置に取り付ける。

ロッククリップを取り付ける。

- 81 **リアのヒューズボックスのそばにブラケットが無い車**：小さいコネクタを大きいコネクタに取り付ける。  
ポイント 92 から作業を続ける。

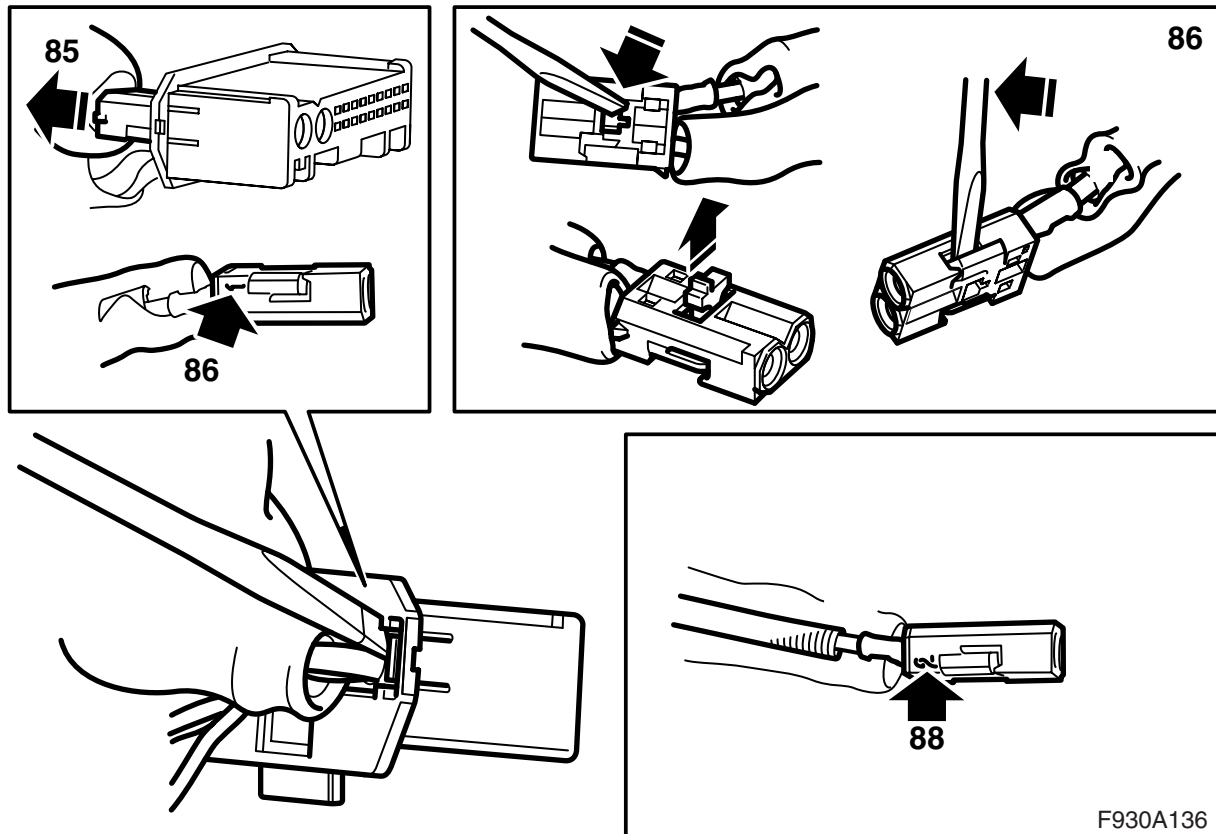
### 警告

赤い可視光線はレーザークラス1である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。



F930A135

- 82 リアのヒューズボックスのそばにブラケットがある車：作業にあたって手が届きやすいように、ブラケットを取り外して取り出しておく。
- 83 リアのヒューズボックスのそばにある、DVDプレーヤー用のコネクタを見つける。
- 84 キットのワイヤーハーネスをコネクタに接続する。



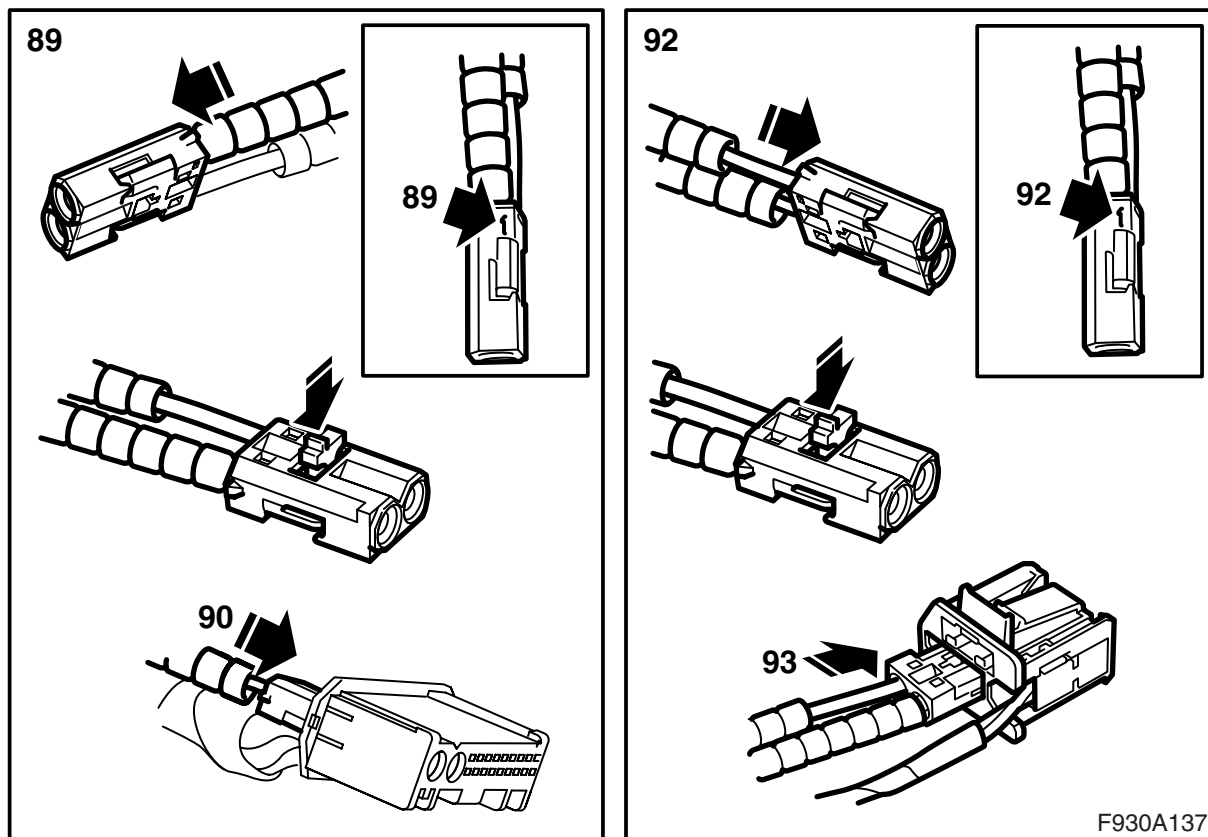
85 リアのヒューズボックスのそばにアンプ用、又はCDチェンジャー用のブラケットがある車：アンプ又はCDチェンジャーのコンネクターを取り外し、小さいコンネクターを大きいコンネクターから取り外す。

リアのヒューズボックスのそばにアンプ用、又はCDチェンジャー用のブラケットがある車：CDチェンジャーのコンネクターを取り外し、小さいコンネクターを大きいコンネクターから取り外す。

86 アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている場合：取り外されたコンネクターから、1の位置に接続されている光ファイバーケーブルを、コンネクターのロッククリップを開けてキャッチを注意深く持ち上げ、取り外す。光ファイバーケーブルが損傷しないように、これをどけておく。

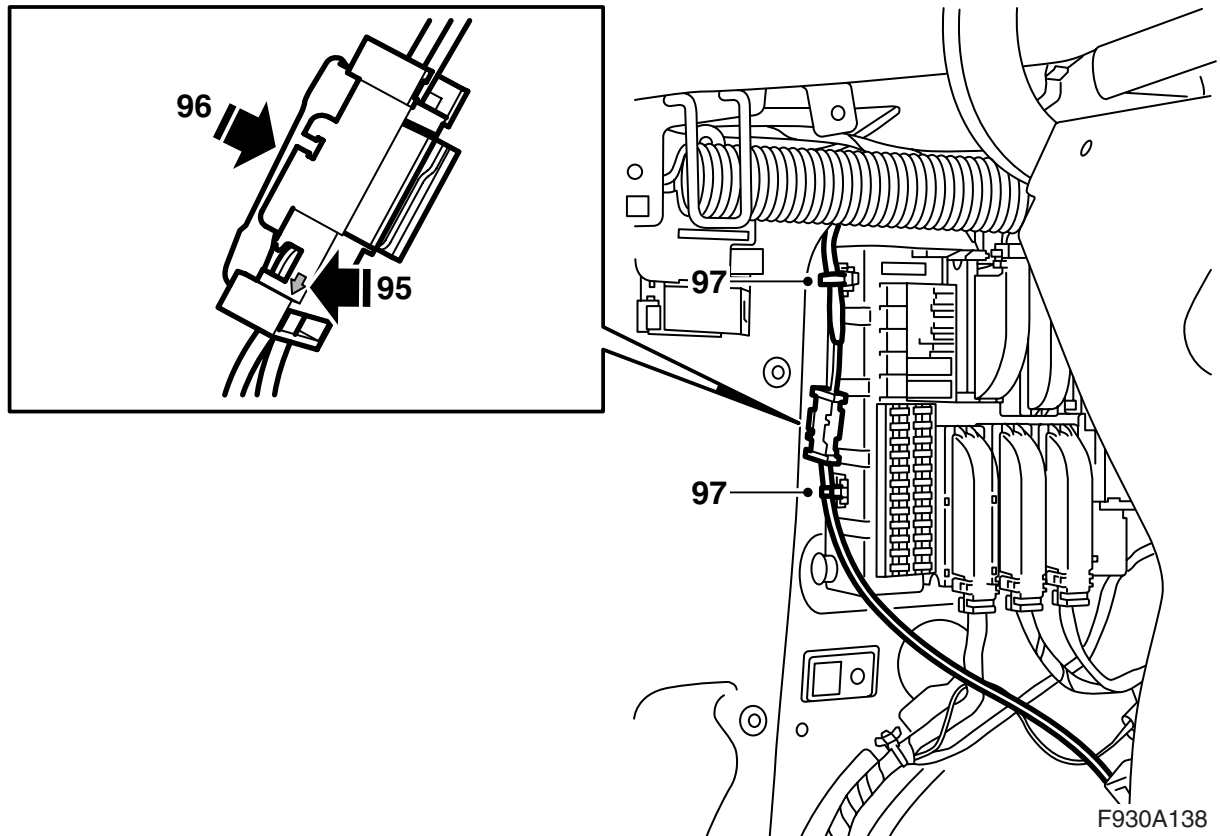
87 アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車：アクセサリキットの光ファイバーケーブルの接続から、保護をそれぞれ取り外す。

88 アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車：キットの光ファイバーケーブルのうち、一方の接続を、キットのコンネクターの位置2に取り付ける。

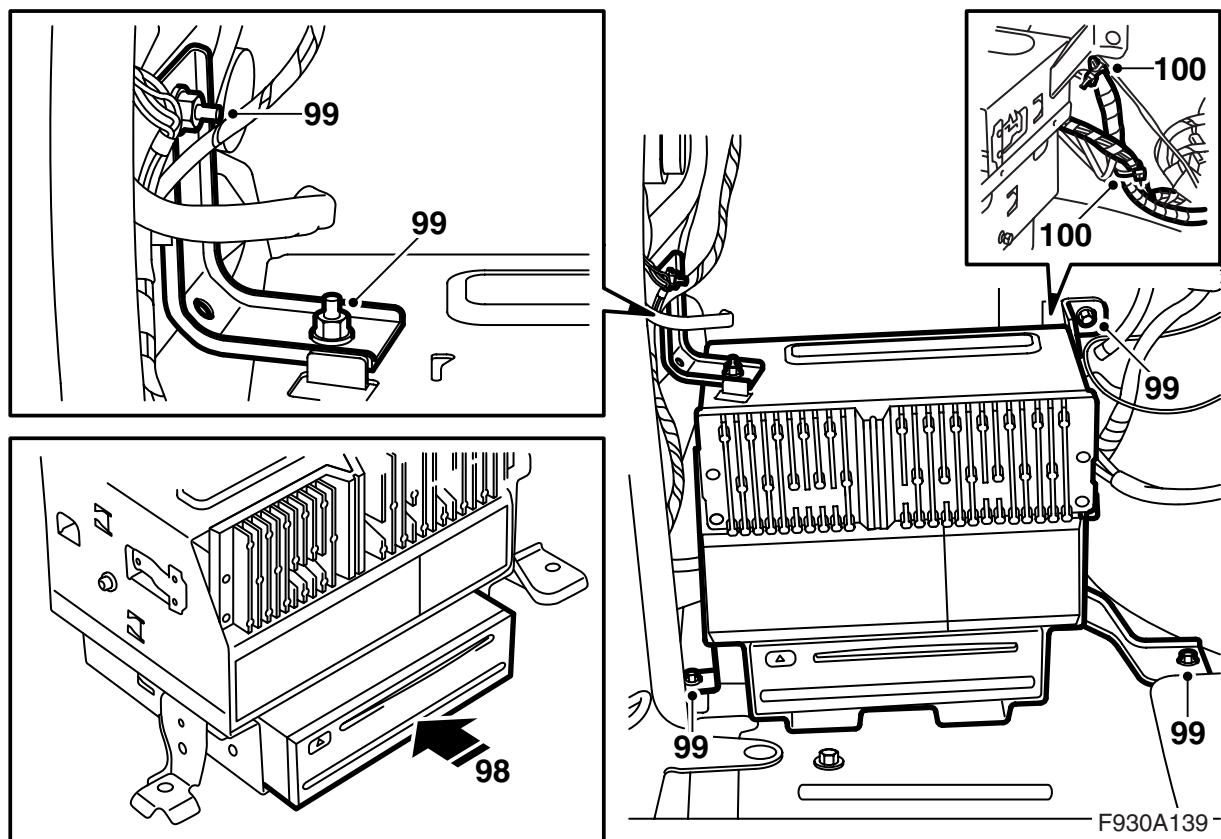


F930A137

- 89 **アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車**：同じ光ファイバーケーブルのもう片方の接続を、取り外してあるコネクタの1の位置に取り付ける。ロッククリップを取り付ける。
- 90 **アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車**：小さいコネクタを、アンプ又はCDチェンジャー用の大きいコネクタに取り付ける。
- 91 **アンプ及び/又はCDチェンジャーが取り付けられている車**：アンプ又はCDチェンジャーのコネクタを接続する。  
ポイント 92 から作業を続ける。
- 92 キットから-extraの光ファイバーケーブルを取り出し、保護を外し、ファイバーケーブルの片方の接続をキットのコネクタの1の位置（2の位置には既に光ファイバーケーブルが1本接続されている）に接続する。ロッククリップを取り付ける。
- 93 小さいコネクタをDVDプレーヤーのコネクタに取り付ける。



- 94 トランクルーム左側、パーセルシェルフから下がってくる光ファイバーケーブル用のコネクタを、キットの接合具のうちのひとつに取り付ける。
- 95 キットの光ファイバーケーブルの、もう片方の接続を、接合具内に取り付ける。前の光ファイバーケーブルの反対側の位置で、矢印が上向きに光ファイバーケーブルを指す位置に取り付けること。
- 96 ロックプレートを取り付ける。
- 97 光ファイバーケーブルを、2本のケーブルタイ（このうち1本はパーセルシェルフから下がってくる光ファイバーケーブルに取り付けられている）を使用して、リアのヒューズボックスに固定する。



98 DVDプレーヤーをブラケットに取り付ける。カチッという音が聞こえるはずである。それから DVD プレーヤーを接続し、ブラケットをはめ入れる。

### 重要事項

光ファイバーケーブルは、送信シグナルが妨害を受けないよう、注意深く取り扱うこと。

- コネクター内の2本の光ファイバーケーブルを取り違えないように注意すること。
- 光ファイバーケーブルを半径25 mm以内の範囲で曲げてはならない。
- 光ファイバーケーブルの両端は汚れていてはならない。
- 光ファイバーケーブルは尖ったものに接触しないようにすること。シグナルが弱まる恐れがある。

99 ブラケットを取り付ける。ブラケット天面の各ナットもしっかり締め付ける。

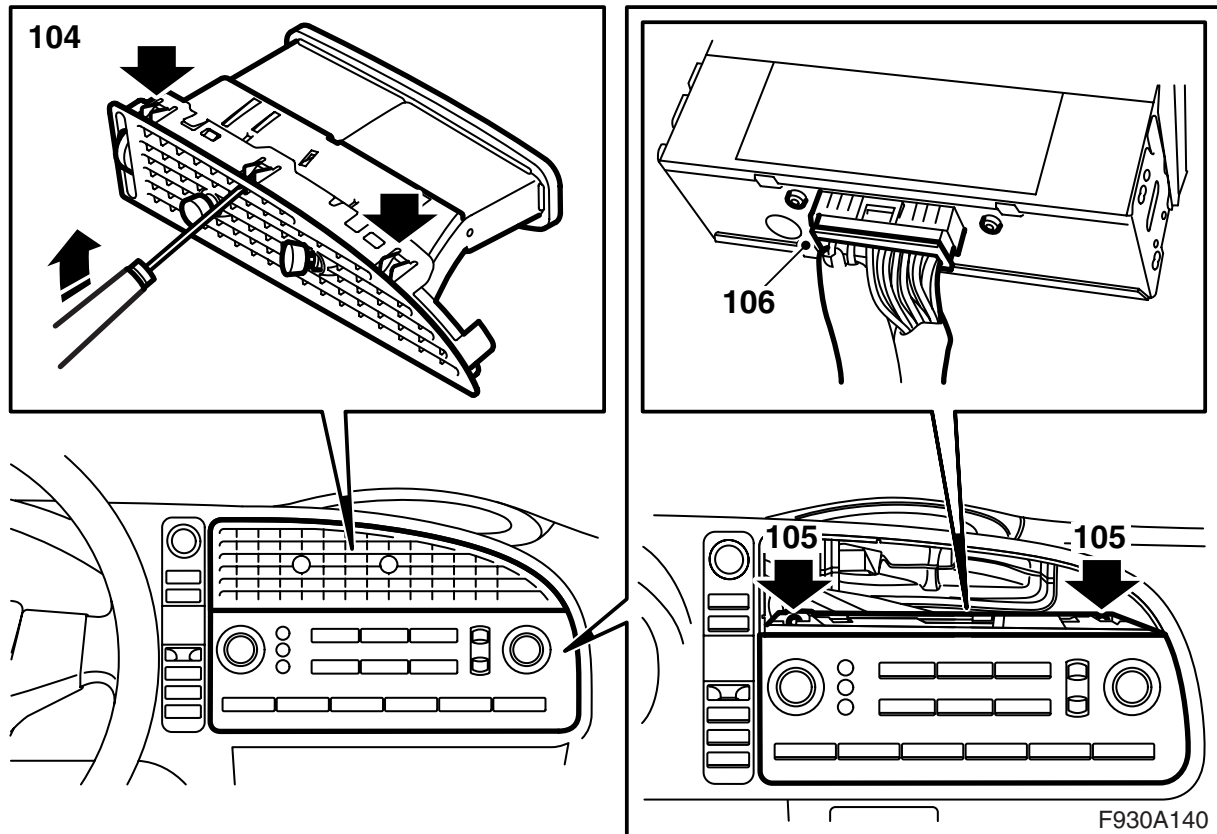
100 キットのワイヤーハーネスを車のワイヤーハーネスに固定する。

101 各サイドトリムを取り付ける。

102 トランクルームの左側サイドトリムのハッチを取り付け、右側のハッチを上げる。

DVD プレーヤー用のブラケットが以前に取り付けられていなかった場合には、新しいハッチを取り付けること。

103 トランクルームフロアを下ろす。



104 インストルメントパネル中央の空気吹き出し口を、キャッチ（グリルを通して手が届く）を注意深く曲げ入れて、取り外す。

### 注記

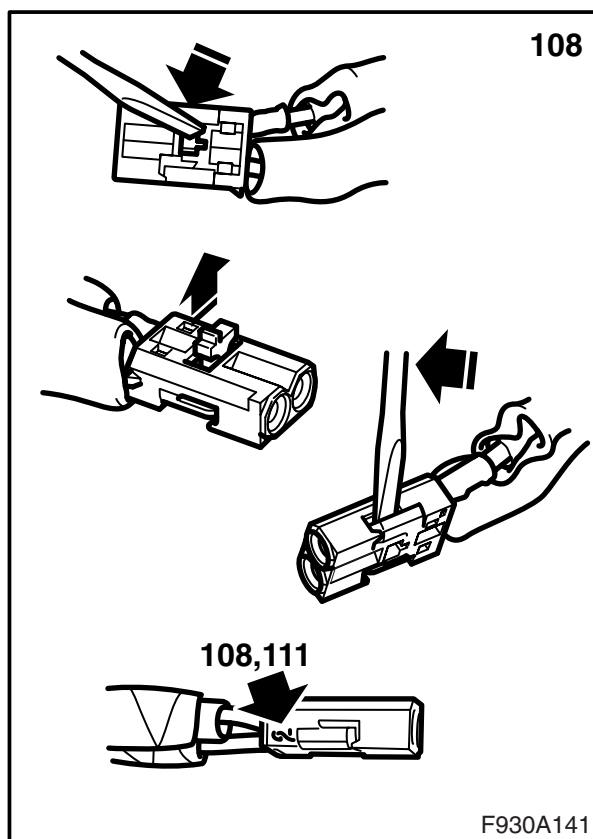
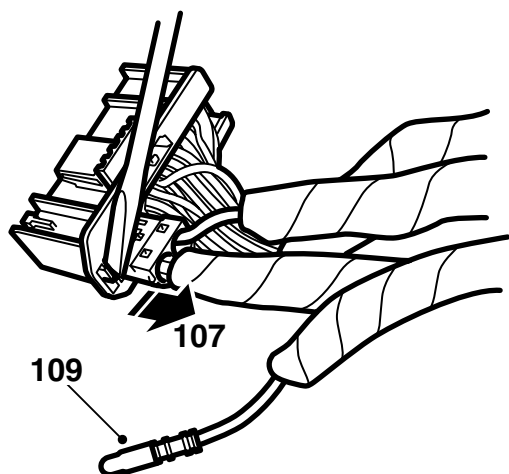
正しいキャッチを内側に曲げることが重要である。各空気吹出口を連結している各キャッチもグリルから見える。

105 インフォティメントシステムの操作パネル用の固定ボルトを取り外す。

106 操作パネルを取り外し、コネクタを外す。

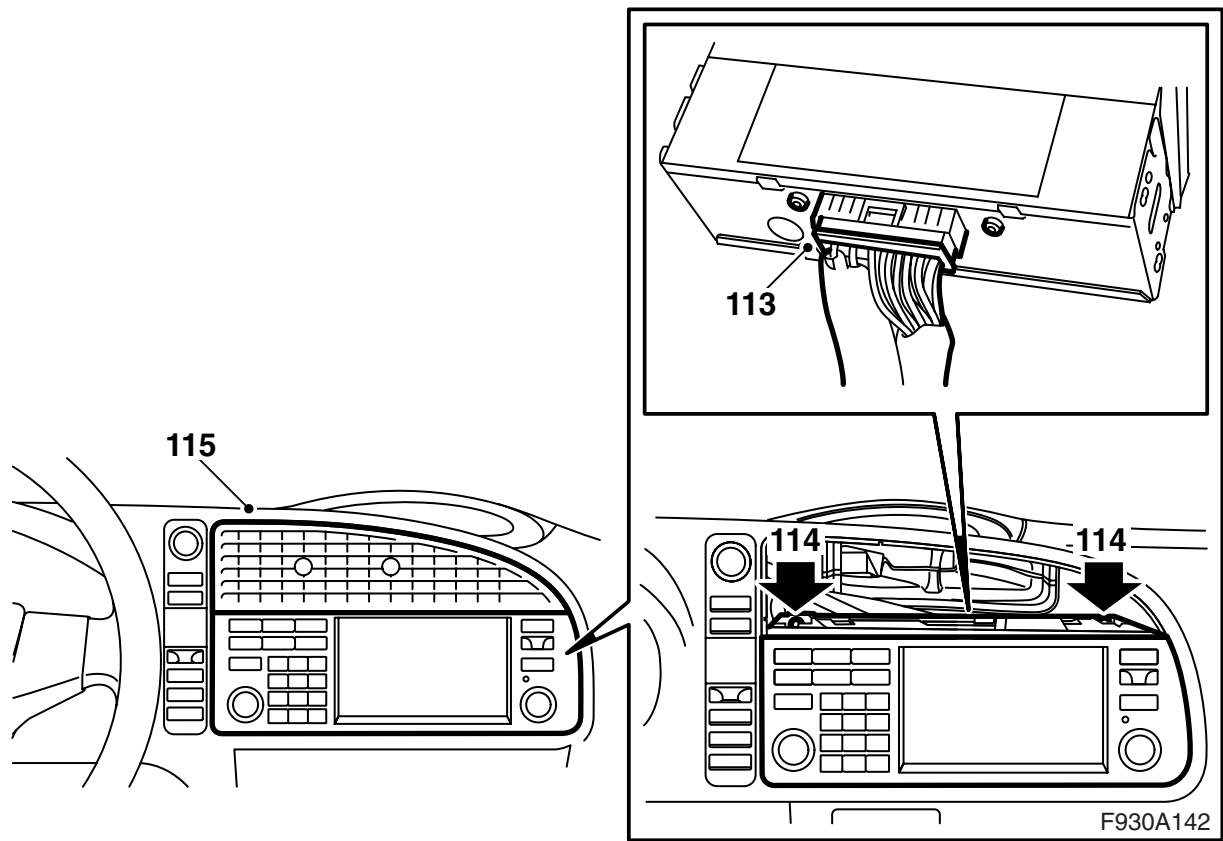
### ⚠ 警告

赤い可視光線はレーザークラス1である。光ファイバーの中や制御モジュールのコネクタを至近距離から直視しないこと。目と光源の間の距離が 20 mm 未満である場合、光線により目にケガをする恐れがある。



- 107 光ファイバーケーブルのコンネクター（小さいコンネクター）を操作パネルのコンネクターから取り外す。
- 108 2の位置に接続されているファイバーケーブルを、コンネクターのロックリップを開き、キャッチを注意深く持ち上げて取り外す。
- 109 3つ目の光ファイバーケーブルを見つけ、光ファイバーケーブルの接続から保護を取り外す。
- 110 取り外した光ファイバーケーブルの接続部分に保護を取り付け、光ファイバーケーブルを（損傷しないため）注意深くどける。
- 111 操作パネル後方にある、青いマークの付いた光ファイバーケーブル（接続されていないもの）を、2の位置に取り付ける。ロックリップを取り付ける。
- 112 小さいコンネクターを大きいコンネクターに取り付ける。

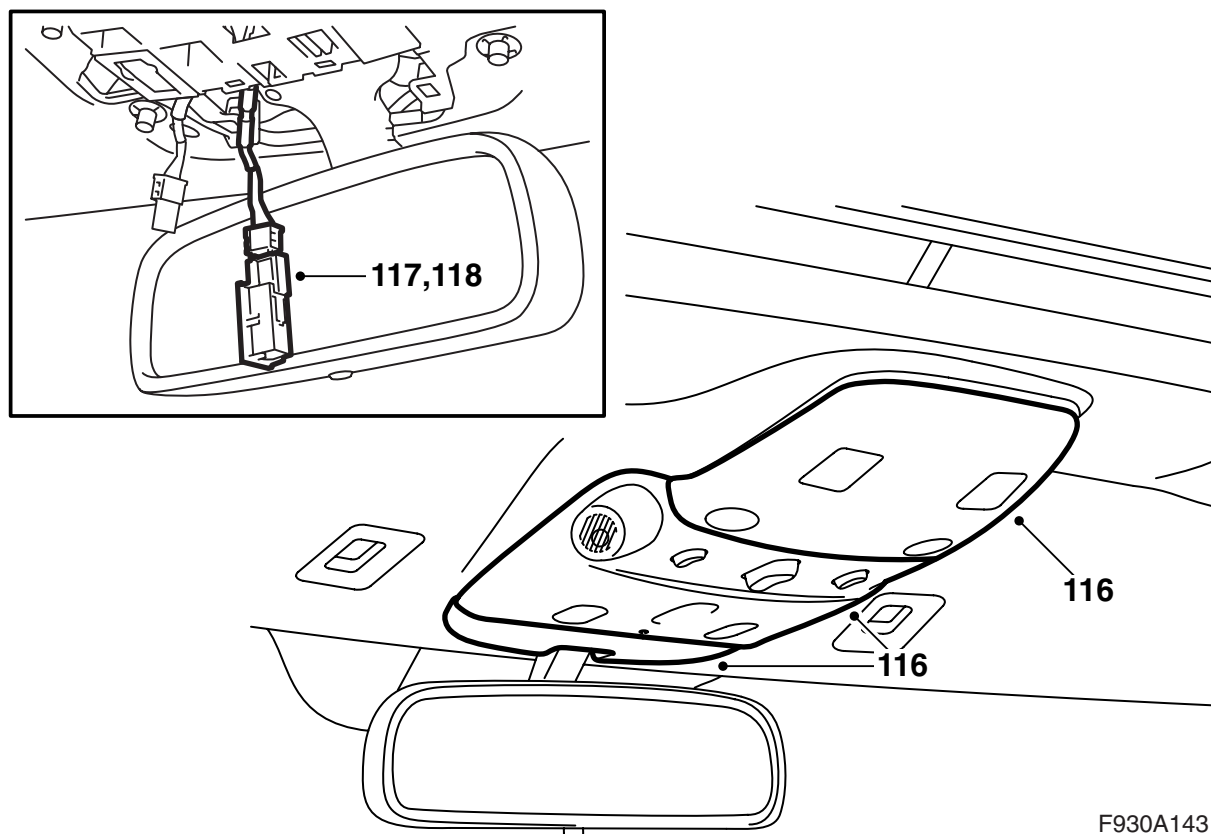




113 コネクターを、キットの操作パネルに接続する。

114 操作パネルを取り付ける。

115 空気吹き出し口をはめ合わせ、取り付ける。



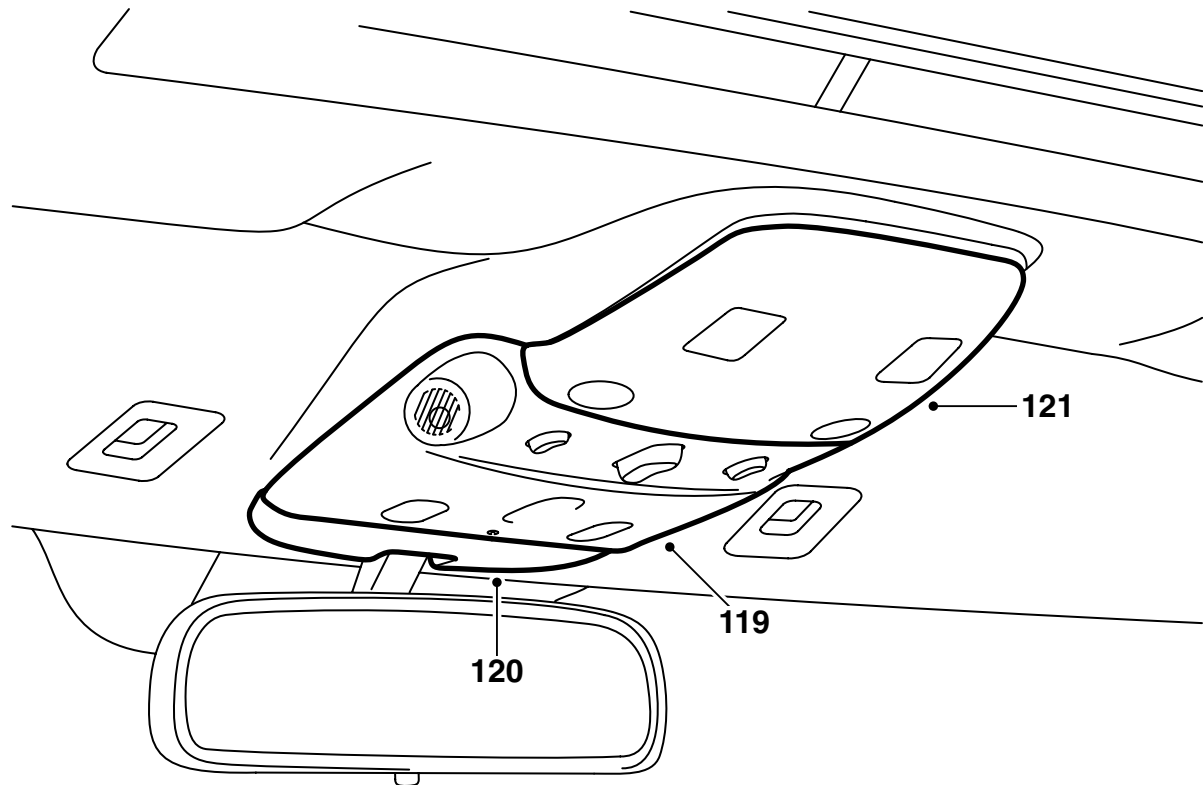
F930A143

- 116 **内蔵電話の無い車**：ルーフライト用カバーの、後ろ側、中央、前側のパーツを取り外す。専用工具 (82 93 474) の使用を推奨する。

### 重要事項

中央のパーツは2本のボルトで取り付けられている。

- 117 **電話も、電話用の予備配線も取り付けられていない車**：マークの付いていない、2本のケーブル付きコネクタを見つける。このコネクタをマイクロフォンに接続する。マイクロフォンをLHD車の場合は左側、RHD車の場合は右側に取り付ける。マイクロフォン用の開口部をおおっているテープをはがして取る。
- 118 **携帯電話用のハンドフリーキットが取り付けられている車**：マークの付いていない、2本のケーブル付きコネクタを見つける。このコネクタをマイクロフォンに接続する。マイクロフォンをLHD車の場合は左側、RHD車の場合は右側に取り付ける。マイクロフォン用の開口部をおおっているテープをはがして取る。



F930A144

- 119 **内蔵電話の取り付けられていない車：** ルーフライト用カバーの、中央のパーツを取り付ける。
- 120 **内蔵電話の取り付けられていない車：** ルーフライト用カバーの、前側のパーツを取り付ける。
- 121 **内蔵電話の取り付けられていない車：** ルーフライト用カバーの、後ろ側のパーツを取り付ける。
- 122 バッテリーのマイナスケーブルを接続する。
- 123 日付と時刻を調整する。
- 124 キーをイグニッションスイッチに差し込むことで、リモコンのコードを同期化する。
- 128 地図の CD を DVD プレーヤーに入れる。ナビゲーションシステムが通信衛星とコンタクトするまで車をテスト走行する。地図がディスプレイ上に表示されるはずである。

### 重要事項

これは全てのリモコンに実施すること。さもないとこれらのリモコンは機能しない。

- 125 サイドウインドーを2回上下させることで、パワーウインドーのピンチガード（挟み込み防止機能）を作動させる。作動が完了すると音による合図が出る。
- 126 **左側フロントシートがパワーシートである車の場合：** シート位置が変更された場合は、元に戻す。
- 127 診断ツールを接続し、車のモデルと年式を選択し、「全て」を選択し、「追加と削除」を選択して、アクセサリを選択し、「追加」を選択する。

### 注記

診断ツールは、場合によって TIS セーフティコードを必要とすることがある。このコードの入手方法は、診断ツールのディスプレイに表示される。